

## 消防団たずね歩き

### 垂水消防団東垂水分団

垂水消防団東垂水分団は、23名で構成されています。

年齢は20代から30代と若手を中心とした分団で、先輩方から受け継いだ意志と若手ならではの機動力のある分団です。

分団詰所は国道2号線沿い福田川右岸にあり、東垂水地区（平磯全域、坂上、川原、中道、山手）を管轄しています。

また、分団員は航海安全・漁業繁栄の神を祀る「海神社」の氏子でもあり、秋祭りでは地域のみなさんと力を合わせて布団太鼓を巡行しています。

祭りを通じて地域のみなさんと団結することにより、密接な関係が築け、それが消防団活動にも生かされています。



海神社にて

2020年以降は新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの行事が中止となりました。

本来であれば地域の防災訓練、夏期訓練、年末特別警戒など、分団員総出で臨むところですが、密を避けるため団員数を制限しての活動となっています。

今後は感染防止対策を徹底したうえで少しずつ活動を再開していきたいと思います。

東垂水地区は海に面した地区です。

近い将来必ず来ると言われている南海トラフ地震に備えて、津波から多くの命を守るため、地域の方々と協力して訓練して行きたいと思います。

分団OBの方々から受け継いだことを引き継ぎ、後進達を育成し、本格的な活動に備えて全団員が防災意識を強く持って災害に備えたいと思います。

垂水消防団東垂水分団 分団長 西村和基

**地域とともに防災力の強化を目指して！**